（別記様式第３号）

普及活動検討会実施報告書

（　美里　）農業改良普及センター
実施月日：令和８年９月２日
実施場所：美里農業改良普及センター

１　検討内容

No	検　討　項　目
1 2	プロジェクト課題 省力化を軸とした土地利用型農業経営体におけるたまねぎの安定生産 合併後の農事組合法人における組織体制整備による経営の安定化

２　検討委員の構成

（単位：人）

区　分	人数	区　分	人数
先進的な農業者	1	生　活　者	
若手･女性農業者		学識経験者	1
市　町　村	2	マスコミ	
農業関係団体	1	民間企業	

３　委員の評価と普及センターとしての対応方向

検討項目	評価値 平均値	評価結果（コメント、評価表の要約）	普及センターとしての対応方向
検討項目（プロジェクト課題No.１　省力化を軸とした土地利用型農業経営体におけるたまねぎの安定生産）について	3.8	・販路が明確であり、当該技術が確立すれば生産者の新たな収益源として期待できる。 ・当該課題を取り組んでほしい経営体のターゲット属性を明確にし、収支をシミュレーションした資料を作成すると導入したいという経営体が増えると考える。 ・露地野菜は天候に大きく左右されるためコスト、労働力削減と移植栽培と比較して収穫量を見極めることが必要である。また、排水対策と覆土の工夫が必要である。 ・高齢化や担い手不足への対策として、省力化が図られ、安定生産につながる取組みは、今後必須になると思う。クラスト化による出芽・初期生育の不安定さや、雑草管理、病害虫リスクの課題はあるが、関係機関との連携により課題を解決してほしい。 ・年々、安定生産が図られている。年間の業務の平準化ができるような検討をお願いしたい。 ・限られた播種適期の中で、１日当たりの播種面積をどのように確保するかが重要であり、現状の１日当たり70ａの播種をいかに拡大するかが必要である。課題解決に向けて関係者で連携して進めてほしい。	・直播たまねぎは、育苗や移植作業の省力化に加え、稲作等の他作物との作業競合が少なく年間作業の平準化や新たな収益源として期待できることから、経営体の規模や作業体系に応じた労働力分散や収支の評価を行い、導入効果を見える化し、普及拡大を進めていきます。 ・安定生産に向けて不可欠な、排水対策の向上、クラスト化対策、雑草管理、べと病等の病害虫防除について、試験研究機関や機械メーカー等と連携しながら安定生産技術確立と普及拡大を進めていきます。 ・限られた播種適期内に播種作業面積を確保できるよう、排水対策などの作業体系の改善や播種機の検討を支援するとともに、種苗メーカーと連携し、播種時期の分散が可能な品種の検討を進めていきます。

検討項目（プロジェクト課題No.2　合併後の農事組合法人における組織体制整備による経営の安定化）について	4.0	・前例のない大規模かつ集落営農法人の合併を形にした。ToDoを示し、専門家を交えながら伴走支援を行ったことで、相談者の不安が軽減したと感じる。 ・今後このような合併は増えることが予想されるが、前向きな合併ではないことから、名実ともに代表者となる人が存在しないと、衰退への時間を稼いだだけで合併のメリットを享受することが難しい。組織としての合意形成のとれたビジョンを策定し、それに基づき生産性や収益性などの課題を構成員で検討していくことが重要であると考える。 ・後継者候補者や退職後に雇用可能な方がいるかを話し合い、採用計画を立てる必要がある。最終的には何人で法人を運営していくかも重要である。 ・合併後１年目であり、様々な課題に対する対応はこれからだと思うが、経営体制や担い手確保については、まずは検討に着手することが重要と考える。県内最大規模の合併であり、今後の取組みに着目したい。 ・旧組織間での活動もあり、課題がよく整理されている。組織間のことなので、人間関係も充分留意して進めていただきたい。 ・当該法人に対する課題が的確に捉えられており、経営管理の合理化や将来の雇用に向けた体制整備など、経営の安定化へ向けた活動として適切な方向性と思う。作業単価や生産方針の統一へ向けた合意形成が図られるよう、引き続き支援をお願いしたい。また、新規雇用については定着に向けた具体的な取り組みを関係団体と共有しながらスピード感を持って進めてほしい。	・将来のリーダーの確保に向け、現時点では合併直後で、十分な検討が行われていない部分もあることから、今後の理事間での話し合いを支援していきます。また、ビジョンや経営計画等の策定に向け構成員内での意識統一に向けた支援を進めていきます。 ・雇用に向けた体制整備については、就業規則の見直しを進めるとともに、従業員の定着に向けた構成員の意識醸成を図っていきます。また、持続的な法人経営の展開に向けた構成員内での話し合いを支援していきます。 ・今後も関係機関・団体と連携の上課題の把握と速やかな解決を支援していきます。 ・本合併事例が地域農業維持のための先進的なモデルとなるよう支援を継続していきます。
その他		・地域農業の発展に今後ともよろしくお願いしたい。 ・持続的な地域農業に向けては、JA、普及センター、市や町の連携は重要であることから、引き続き支援・指導をお願いしたい。 ・課題が、地域ニーズに合っている。	・持続的な地域農業の発展に向けて、JA、普及センター、市町の連携を一層強化しながら活動していきます。

※：検討項目数に応じて欄を追加し記載する